

保護者様

さいたま市立馬宮西小学校
校長 赤木 伸年

平成30年度馬宮西小学校学校評価について

向春の候、皆様には益々ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本年度、保護者の皆様にいただきましたアンケート結果を分析し、学校評議員・学校関係者評価委員の皆様よりいただいたご意見も含め、来年度に向けての改善や努力事項についてまとめましたのでご報告いたします。今後も信頼される学校づくりに努めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。（※裏面のアンケート結果をご参照ください。）

<集計（評価）結果の概要について>

- 「安全指導」への肯定的な回答は、98%でした。登下校指導や避難訓練の取組、安心メールの活用等で高い評価をいただけたものと考えます。
- 「学習指導」への肯定的な回答は、93%でした。「学力向上ポートフォリオ」等で学びの連続性を確立し、今後も学力向上策を継続的に推進していきます。
- 「児童対応」への肯定的な回答は、86%でした。今後も丁寧に児童の指導に当たっていきます。「いじめ対応」への肯定的な回答は、79%でした（「よく分からない」との回答が7%）。引き続き「学校いじめ防止基本方針」、「児童生徒のこころのサポート 手引き」等を活用し、いじめの未然防止に取り組んでいきます。
- 「公開参観」「情報公開」への肯定的な回答は、それぞれ97%、95%でした。今後も地域に開かれた学校づくりを推進していきます。

<学校評議員・学校関係者評価委員から>

- 学校での教育・児童の様子について
 - ・一人ひとりの子どもに目を向けることのできる学校であると思う。
 - ・学校評価項目のうち、少数ではあるが「あまりできていない・あまりそうではない」と評価している保護者がいる。そのような意見にも耳を傾けて話を聞くことで保護者との連携を強化できると思う。
 - ・校内では、子どもたちは、とてもよく挨拶ができている。
- 家庭での教育について
 - ・家庭で不安なことがあると、子どもは落ち着いて学校生活を過ごすことができない。
 - ・学校だけに教育を任せることには限界がある。家庭や地域でできることは、していかなければならない。
 - ・挨拶などを含めて、親や大人が子どもに模範を見せることも必要である。
- 安全な登下校、地域での児童の様子について
 - ・児童にとって見知らぬ人には抵抗があるかもしれないが、学校の外でも積極的に挨拶ができるとよい。
 - ・万が一のときに、児童は防犯ブザーや防犯ホイッスルを活用できるのか心配である。
 - ・通学路の整備、危険箇所における安全確保等については、地域でも声をあげて行政に要望していきたい。
 - ・PTA活動で通学路の安全点検を実施しているようだが自治会等でも、できることがあれば協力したい。

来年度に向けて

- ・学習状況調査等の結果分析も踏まえた授業改善及び教科指導の充実を図るとともに、児童及び保護者の目線に立った迅速な連絡対応と信頼関係づくりに一層、力を入れて取り組んでいきます。
- ・学校便り等の配布や保護者会、教育相談等を通して、学校からの情報を積極的に発信し、保護者とともに、子どもに生きる力を育てていきます。
- ・「防犯ブザー・防犯ホイッスル点検」を定期的実施するとともに、挨拶ができる子どもを育成する取組を学校、家庭、地域が一体となって連携し、推進していきます。
- ・地域人材の活用と地域行事への参加を推進して「ふるさとと歩む学校づくり」に取り組んでいきます。

平成30年度 学校評価アンケート

